

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	10分間ミーティングを毎日実施	事業所の理念について、毎日職員同士の情報の共有として、ミーティングを実施しており、玄関にも掲示している	理念を、具体化し、実践に繋がる様に更に期待したい
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入り町内の行事に参加している新松戸まつり、盆踊り、運動会、クリスマス行事等に参加している	事業所と、近隣の諸行事・地域のネットワークに積極的に参加して、地域から、受け入れられている様に思われる。	利用者の高齢化もあり、年毎に参加者減少傾向であるが、施設内の行事に地域の参加者を集うなど、身近な交流が出来る様に期待したい
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	車椅子の貸出等を無料で提供している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的実践している	運営推進会議も、年に4回程、会議が行われ、外部評価の報告や、地域の率直な意見に対し取り組む姿勢が、見受けられる	地域との交流を記録に留め、その結果明らかになった課題についての改善の取り組み実践化に期待したい
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の主催している研修には積極的に参加している	市の研修・連絡等に対応している	運営推進会議等で明らかになった事業所の課題など、市町村担当者へ報告し、情報の共有の為に活用していく取り組みに期待したい
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会がありアンケートや意識調査などで理解を深めている入口には自動ドアであるが出口のみ交通事情により施錠している	職員の意識は研修等で確認されている。建物の構造上の問題もあり、玄関の施錠は、されているが、玄関傍に広いリビングが、オープンになっており、利用者が、いつでもくつろげる場となり、職員も利用者に声をかけながら、安全に心がけている	事業所として利用者の高齢化に対応する難しさはあるが、外出の機会を増やす方策等の検討に期待したい
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県主催の研修に参加し、研修内容を全職員に回覧している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学んでいるが現在制度利用者は無い		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	担当者が十分な説明を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員の月一回の訪問を実施中	介護相談員と利用者の連携もできている。家族等の意見を運営に反映させている事が見受けられる	介護相談員の訪問によって、出てきた課題やそれへの対応等を、記録に残し、後日の検討材料に生かす様に期待したい
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的に連絡ノートを利用している	職員同士の情報の共有の為に、ミーティングを毎日実施しており、連絡ノートを活用し改善に取り組んでいることが確認できる	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	比較的ゆとりあるシフトになっており休憩時間の確保、休憩室の配置等を整えている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修管理を行い不公平にならないように受講し、内外の研修を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業のグループホームへの見学研修を実施している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	毎日のように訪問し可能なかぎり要望に応えるように努力している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時間を作り対応している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアハウス等、その人に合ったサービスを紹介している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個別の対応に重点を置き実施している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	努力はしているが一部の家庭に於いては本人と家族の関係が上手くいかず支え合えない		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を得ながら友人・知人の面会を設けている	家族と連携を取りながら、利用者の意向を取り入れ外部との接触を図っている努力が、アンケート調査でも見受けられる	利用者アンケートでも評価されている職員の家族に対する気配りや配慮を今後も継続される事を期待したい
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ユニットにとらわれず、気の合う利用者同士での行事の参加		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	計約終了理由のほとんどが死亡継続させていないのが現状		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を導入	ユニット毎に利用者の特徴を捉え、福祉職・医療職・または、家族と共に、チームでケアをする努力が、窺える。	事業所が掲げている短期・中期目標の実現に向けた努力の結果が、成果に繋がる様に期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、または入居後も本人の今までの暮らしぶりを良く聴いておく		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人に合わせた起床、離床時間に合わせ散歩などで調整している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族との話し合いの中で希望や意見等を探り入れている	利用者の課題とケアについて、家族との面会や電話対応により、利用者一人一人の課題を、職員間で共有のミーティングをするなど、チームで取り組んでいる様子が窺える	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は毎日行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	臨機応変に個別に支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	積極的に地域の協議会や消防、教育機関などと協力している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月二回の往診あり、主治医が違う方についてはその都度家族と共に主治医の処で受診している	利用者の受療状況を、把握しその都度家族に同意を得ながら、対応している。緊急対応についてもスムーズに行われていることが利用者アンケートによって、確認出来た。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤看護師が在職している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の面会は必ず行っている、看護師が病院側と情報交換を行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	同意はえられるも文書作成までは至っていない	今まで看取りの事例はないが、利用者の重度化やターミナルについて、医師・家族・ケア関係者との連携は、できている	看取りについて文書化されていない事が課題となる。今後、文書化される事を期待したい
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	蘇生法の訓練を行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の連絡協議会に所属し地域との災害等の協力体制を行っている	地域のネットワークに所属し、市民センター・大学等の会場で年2回程防災訓練に参加している。又、施設内に於いても、職員と利用者が共に、防災訓練を行い、災害対策に取り組む姿勢が窺える。	災害訓練の記録も残されると今後の参考になると思われる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	記録物に関わる書類は別に保管し管理している丁寧語で話しかける	個人情報に関わる書類等は、別に保管している事を確認。又、職員の利用者への言葉かけとうにも、利用者の誇りや、プライバシーに配慮している様子が、窺えた	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思いや話を傾聴することから始めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	会議のなかでも「待えつ」ことの大切さを話合っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行応きつけの美容・理容を利用している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みのメニューを取り入れている、簡単な手作りおやつを実施している	季節に応じた旬の食材と、伝統行事を取り入れた食卓は、話題作りにもなり利用者の笑顔が窺えた又、利用者の残存能力を生かし、手作りのおやつも一人ひとりの好みを重んじ楽しみの場となっている	日常の食事の準備や、後片付けも共に出来る様に期待したい
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バイタルチェックしている表及び摂取量等の一覧表作成(毎日)をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎朝後、口腔ケアを行っている、また必要に応じて歯科医師の往診を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に基づき個人にあわせている対応をしている(現状維持)	介護計画の一部として一人ひとりに合わせた、トイレ誘導の声かけや、夜間のオムツ交換を全職員が、把握しチームで対応している努力が窺える	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立の中で工夫し、個別に散歩等の実施等で取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	全体では入浴日が設定されているものの個別の対応もしている、深さの解消等も改善している	一人ひとりに合った対応を心がけている様子が窺えた	建物の構造上の問題もあるが、利用者が、楽しく入浴が出来る様な装飾や、明るいカーテンやのれんを取り付けるなどの工夫に期待します
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ええドライブ・喫茶などで外出し気分転換をは図っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が管理し支持どおりの服薬が出来ている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	週一回のクラブ活動、生け花等に取り組んでいる		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩等の回数を増やしている	個別にアンケート調査をし、利用者の希望を聞くなど、一人ひとりの気持ちを大切にしている努力が、窺われる	利用者の高齢化など変化に伴う難しさはあるが、アンケート調査では、外出支援の希望が窺われるので、今後の取り組みに期待したい

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理はしているが本人が自由に使うことができる		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるように壁面装飾を利用者と共におこなっている	共用である、玄関脇の広い居間の空間には、季節の生花が生けられたり、利用者の作品が、装飾されたり、清潔感があり利用者の心を和むような努力がされている。利用者アンケートにも職員の配慮に感謝している様子が窺えた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一階サロンに設けている、クラブ活動も一階で行っている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	スペースに限りがあるため、本人・家族と相談し、大切なものを重点に置いて頂いている	個人の希望により、選択が出来る様に畳や、絨毯や、布団・ベッドと環境作りの配慮が行われている。各部屋に通ずるフローア-には、利用者の満面な笑顔のスナップ写真が、個性的に装飾されていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人対応で能力のある方には草花、観葉植物などを管理して頂いている		